

## **[遺族] 中村 斗哉 氏（平成 22 年（当時 4 歳）、母を交通事故で失う）**

### **[要旨]**

中村氏には、本事業検討会委員である井上氏からの質疑応答の形式で発表いただいた。

### **○当時の状況と今の状況**

[中村氏]

当時の状況はほとんど記憶に残っていません。4歳の時、母親が自分を幼稚園へ送ってくれた後に、弟を抱いて散歩中、横断歩道を渡っていたところを左後方から右折してきた大型車に轢かれて死んだと、家に帰ってから父親から聞かされました。

[井上氏]

弟さんは、奇跡的に軽傷で済んだのですよね。

約 15 年前から親子 3 人の生活が続いたことになりましたが、今、中村さんは、どこでどのような勉強をされていますか？

[中村氏]

公務員系の専門学校に通うため、東京で寮生活をしています。

[井上氏]

小学校、中学校、高校での友達との関係はいかがでしたか？ お父さんに育ててもらっていることに対して、周りの友達は特別視することはありましたか？

[中村氏]

特になく、普通に接してくれました。

### **○助けになった支援**

[井上氏]

中村さんに苦勞したことは何かと聞くと、「特に大丈夫でした」とおっしゃるのですが、今振り返ってみて助かったこと、あってよかったこと、こんなことを周りの人から力を貸してもらえていれば、自分も弟もお父さんももう少し楽だったかもしれないと思うことはありますか？

[中村氏]

犯罪被害者のこどもが受け取れる「まごころ奨学金」というのがあり、返さなくても良い奨学金だったので助かりました。

[井上氏]

保護者が犯罪被害に遭ったこどもで、高校、大学、大学院、短大、専修学校の通学を希望する方が対象になるのですね。返済の義務がない奨学金は、こどもから見ても大変助かったということです。